

# 第 24 期 pES club step4 大会看護学生シナリオ

2025 年 6 月 15 日

聖路加国際病院 看護部

稲吉 ひかり

社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巢医科大学附属病院の ICU に勤める看護師です。

相椎勇さん（59 歳男性）は、仕事帰りに道端で倒れているところを発見され、当院へ救急搬送されました。大きな既往歴はなく、原因不明の痙攣重積の診断で、呼吸・循環管理を要することから、ICU に入室し、挿管・人工呼吸器管理中です。家族は妻（55 歳）と娘（25 歳）がおり、連日面会にきています。

入室後 3 日間はミダゾラムとレミフェンタニルの持続投与にて深鎮静管理を行い、入室 4 日目にミダゾラムを減量して浅鎮静管理へと移行し、覚醒させていく方針となりました。夜勤の受け持ち看護師は、鎮静量を減量するため、早朝から手抑制を開始しました。

あなたは、入室 4 日目の相椎さんの受け持ち看護師になりました。6 時にミダゾラムを減量してから、12 時頃に意思疎通が図れるようになりました。ただ、挿管中のため相椎さんは発語はできません。病室には妻も同席しています。

あなた 「相椎さん、わかりますか？ここは病院です。痙攣発作を起こして ICU に入院しています。人工呼吸器管理が必要で、いま相椎さんは挿管している状態です。それに伴い、抑制もしています」

相椎さん （頷きながら、首を大きく振り、手足をじたばたと動かしている）

あなた 「どこか痛いところがありますか？」

相椎さん （頷く）

あなた 「息苦しいですか？」

相椎さん （首を横に振る）

あなた 「現状が理解できずにつらいですか？」

相椎さん （頷く）

妻 「大丈夫でしょうか？すごく辛そうに見えて心配です（涙ぐむ）」

あなたは、このままだと相椎さんが安全かつ安楽に過ごすことができなくなる可能性を考えました。ICU を退室したあとに相椎さんや妻が PICS を発症しないようにするためのケアについて、妻に対して PICS とは何か、看護師がどのような関わりを行おうと考えているか説明してください（10 分間）。